

富山高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	環日本海諸国語Ⅲ(ロシア語)
科目基礎情報					
科目番号	0060		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	『ロシア語の教科書』				
担当教員	山本 有希				
到達目標					
(1)名詞等の単数形格変化を習得する (2)動詞の完了体と不完了体の用法を習得する (3)単位認定には60点以上が必要である					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	名詞格変化、運動の動詞及び動詞の体について、8割以上理解できる。		名詞格変化、運動の動詞及び動詞の体について、6割以上理解できる。		名詞格変化、運動の動詞及び動詞の体における理解度が6割に達しない。
評価項目2	上記文法事項を活用した作文及び文章読解がスムーズにできる。		上記文法事項を活用した作文及び文章読解ができる。		上記文法事項を活用した作文及び文章読解が満足にできない。
評価項目3	実施される単語テストにおいて正答率が8割を超える。		実施される単語テストにおいて正答率が6割を超える。		実施される単語テストにおいて正答率が6割に達しない。
学科の到達目標項目との関係					
ディプロマポリシー 3					
教育方法等					
概要	1年時に学習した事項を確認しながら、引き続きロシア語学習を進める。				
授業の進め方・方法	教員単独による講義および演習				
注意点	<授業改善策> ・学生の理解度を質問等で確認しながら講義を行うよう努める。 ・評価が60点に満たない者は願い出により追認試験を受験することができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者については、その評価を60点とする。 <備考> 1)遅刻3回で欠課1時間とする 2)授業計画や評価項目及び評価割合は変更することがある				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス他	1)シラバスの説明 2)既習事項の復習	
		2週	第7課	運動の動詞の用法	
		3週	第7課	定体動詞と目的地の表現	
		4週	第8課	不完了体動詞の過去形	
		5週	第8課	不完了体動詞の未来形	
		6週	第8課	不定体動詞の時制	
		7週	第8課	Когдаを用いた複文	
		8週	中間試験	既習事項の確認を行う	
	2ndQ	9週	試験返却および解説	試験問題の解説及び点数の確認を行う	
		10週	第9課	生格の用法	
		11週	第9課	所有表現	
		12週	第9課	不在の表現—否定生格	
		13週	第9課	出所を示す前置詞	
		14週	第9課	修飾を示す生格表現	
		15週	期末試験	既習事項の確認を行う	
		16週	成績確認	成績評価の確認を行う	
後期	3rdQ	1週	第10課	動詞の不完了体と完了体の用法	
		2週	第10課	行為の名指しの表現	
		3週	第10課	一定時間継続する行為の表現	
		4週	第10課	反復される行為の表現	
		5週	第11課	与格の用法 宛先や年齢の表現	
		6週	第11課	行為の必要性や禁止の表現	
		7週	第11課	好みの表現	
		8週	第11課	行き先の表現	
	4thQ	9週	中間試験	既習事項の確認を行う	
		10週	試験返却および解説	試験問題の解説及び点数の確認を行う	
		11週	第12課	運動の動詞・完了体の時制	
		12週	第12課	造格の用法 立場や職業の表現	
		13週	第12課	従事する行為の表現	

		14週	第12課	1)同伴あるいは欠如を示す表現 2)Еслиを用いた複文
		15週	期末試験	既習事項の確認を行う
		16週	成績確認	成績評価の確認を行う

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0